



IIPS

第1回中曽根康弘賞受賞者（2005年6月28日受賞）

1 朴 喆熙（パク・チョルヒ）（優秀賞）

年齢：1963年2月11日生れ 国籍：韓国

所属：ソウル大学大学院助教授（国際関係論）

授賞理由：日韓米での長期にわたる研究活動を通じて日本の政治・外交、日韓関係、東アジアの国際関係等に関する多くの学問的業績を挙げている。また、韓国国家安全保障会議諮問委員、韓国国際関係学会理事等多数の公職に就いている他、外交安保問題等についても積極的な発言を行っている。特に日韓関係においては日韓フォーラムメンバー、ソウル大学日本研究所学術交流部長等を務めており、日本と韓国が真の相互理解と友好関係を確立していくために尽力している。

2 関谷 尚美（奨励賞）

年齢：1969年6月23日生れ 国籍：日本

職業：作曲家

授賞理由：アメリカを拠点として旺盛な作曲活動を展開している。各地の音楽祭やコンテストに積極的に参加しており、また、同氏の曲は世界各地のオーケストラで演奏され、国際的に高い評価を受けている。本年5月初演の音楽劇 *Manzanar: An American Story* は、第二次大戦中の日系アメリカ人の強制収容所への収容事件を題材としたものであるが、同氏はこのプロジェクトに首席作曲家として参加している。このプロジェクトについては、新しい音楽を作るというだけでなく、音楽を通して現代につながる社会的・政治的問題を描き、ひいては世界の平和と親善に貢献したいという強い意欲を持って取り組んでいる。

3 Rizal Sukma（奨励賞）

年齢：1964年11月17日生れ 国籍：インドネシア

所属：インドネシア戦略国際問題研究所（CSIS）研究部長

授賞理由：安全保障、外交、内政問題等に関する多くの学問的業績をあげている他、近年の政治改革に大きく関与しており、国防省国家防衛法案起草委員会委員、同省戦略防衛検討委員会委員を務める等、特にセキュリティーセクターの改革に重要な役割を果たしている。国際的にはASEANの安全保障分野における体制作りやアジア太平洋地域全体の安全保障推進のために尽力し、ASEAN地域フォーラム・インドネシア著名専門家メンバーやアジア太平洋安全保障協力会議（CSCAP）インドネシア委員会委員等の役職を務めている。

4 宮城 大蔵（奨励賞）

年齢：1968年1月27日生れ 国籍：日本

所属：北海道大学大学院法学研究科講師

授賞理由：同氏は「バンドン会議と日本のアジア復帰」（2001年）及び「戦後アジア秩序の模索と日本」（2004年）を著している。同氏の特徴は「戦後アジアにおいて日本は何であったのか」を一貫して追い求めていることである。特に従来あまり目が向けてこられなかった「海域東南アジア」・「海のアジア」に焦点を当て、そこに関わる日本とアジア、欧米諸国の多国間外交史を論じている。また、日本やアメリカ、イギリスの外交文書等一次資料に丹念に当たり、膨大な資料と証言の蓄積により論述を進める実証的研究手法も高く評価できる。